報道機関各位

令和7年4月25日
北九州市消防局

「第51回福岡県消防救助技術指導会」に向けて

選抜された隊員による訓練成果の発表

救助技術の向上に努めてきた消防職員が、７月の「九州地区消防救助技術指導会（沖縄県）」、８月の「全国消防救助技術大会（兵庫県）」、への出場を目指し、その予選となる「福岡県消防救助技術指導会」を前に、これまでの訓練成果を消防局長に披露します。

救助大会（指導会）訓練とは

- 救助技術に必要な基本的要素を錬磨し、体力・精神力・技術力を養う訓練
- 複雑多様化する災害に備え、消防が行う救助活動の万全を期すため、日頃の訓練成果の披露とあわせ、知識及び技術の向上を図ることを目的

1　日　時　令和７年５月２日（金）１０時００分から１１時３０分まで

2　場　所　北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目２番５号）

3　訓練概要

（１）スケジュール

● 訓練隊員による訓練開始の報告　１０時００分
① ロープ応用登はん
② はしご登はん
③ ほふく救出
④ 引揚救助
⑤ ロープブリッジ渡過
⑥ ロープブリッジ救出
⑦ 技術訓練（震災における救助活動）

別紙参照

● 消防局長訓示、代表職員選手宣誓　１１時２０分頃終了予定

（２）消防救助技術指導会の種目

別紙のとおり

4　参加者　訓練隊員３０人（運営職員等を含めると約５０人）

5　主　催　北九州市消防局

6　問い合わせ先　消防局警防課　担当　長野・友田

電話番号：093－582-3817

別紙

消防救助技術指導会の種目等

種目名	内容	種目名	内容
① ロープ応用登はん 	２人１組で行います。 資器材を使わずに、腕力と脚力のみで１５ｍのロープを安全・確実・迅速に登ります。 建物へ進入するための訓練です。 ４名（２名×２チーム）	② はしご登はん 	命綱を作成した後に、１５ｍのはしごを安全・確実・迅速に登ります。 建物へ進入するための訓練です。 ３名（個人種目）
③ ほふく救出 	２人１組で行い、８ｍの横抗に１人が進入し、要救助者を発見した後、残り１人と協力して安全な場所まで救出します。 煙が充満したビルや地下室に要救助者が取り残されている状況を想定しています。 ９名（３名×３チーム）	④ 引揚救助 	４人１組で行い、７ｍの塔の下に２人が降りて、要救助者を発見した後、残り２人と協力して塔の上まで引き揚げて救出します。 崖下や建物下に要救助者が転落した時を想定しています。 ５名（１チーム）
⑤ ロープブリッジ渡過 	水平に展張された渡過ロープ２０ｍを往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過をするロープ渡過の基本的な訓練です。 １名（個人種目）	⑥ ロープブリッジ救出 	３人１組で行い、水平に　張った２０ｍのロープを　２人が渡り、要救助者を発見した後、残り１人と協力して安全に救出します。 河川の中洲等に要救助者が取り残された状況を想定しています。 ４名（１チーム）

【参考】

■第51回福岡県消防救助技術指導会
令和7年5月23日(金)
場所:福岡県消防学校

■第53回九州地区消防救助技術指導会
令和7年7月18日(金)
場所:沖縄県消防学校

■第53回全国消防救助技術大会
令和7年8月30日(土)
場所:兵庫県立広域防災センター